



ごあいさつ

京都市長 山川 大作

西山や小畑川をはじめとする豊かな自然、大原野の広大な田園風景などの美しい景観と、静かな住環境が調和した洛西地域。そんな地域の魅力と周辺交通アクセスを大きく向上させる新たな道路、大山崎大枝線がついに完成いたしました！

これもひとえに、地権者の方々をはじめとする地元地域の皆様、国土交通省をはじめ関係機関の皆様、並びに工事関係者の御理解、御協力の賜であります。改めて、心から感謝申し上げます。

本道路は、京都第二外環状道路へのアクセス道路として、渋滞など地域交通環境の改善と地域の活性化、さらには災害時などの緊急輸送の円滑化に大きく寄与することと確信しております。

また、本道路には陽光桜やヒトツバタゴなどの街路樹を配し、区間の一部にはゆとりのある自転車歩行者道を整備しました。美しい花と緑に満ち溢れ、歩いても自転車でも楽しめる安全で快適な空間としても御利用いただければと存じます。

今後とも、市民の皆様の視点に立ち、京都の山紫水明の自然や千年を超える歴史と調和した道と緑を創造してまいります。地域の皆様や関係者の皆様には、引続き温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

事業概要

主要府道大山崎大枝線(都市計画道路名:沓掛上羽線)は、地域の幹線道路であるとともに、国土交通省と西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)が整備を行っている京都第二外環状道路の大原野ICへの連絡道路としての機能を有する路線でもあります。また本路線は、幹線道路網の整備が遅れている京都市西部地域において、道路ネットワークを形成するとともに、大枝、大原野地域を南北に縦断する重要な幹線道路となります。

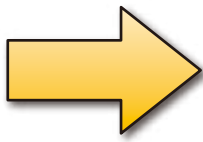
本市では、主要府道大山崎大枝線道路改良事業として、西京区の大枝沓掛町から大原野南春日町の間(延長L=1,610m)を整備しています。このたび、国道9号から大原野IC付近までの間(延長L=1,440m)が完成し、交通の円滑化や地域の活性化に向けて大きく前進することとなりました。

事業概要	
認定路線名	主要府道 大山崎大枝線
都市計画道路名	3・4・106 沓掛上羽線
事業期間	平成11年度～平成25年 (工事着工年度:平成20年度)
事業区間	西京区大枝沓掛町 ～ 大原野南春日町
事業延長	L=1,610m
幅員(車線数)	沓掛工区:23.75m(4車線) 西長春日工区:W=20m(2車線)～23.75m(4車線)
道路規格	第4種第1級～第2級
現況交通量	4,457台/日(H17センサス,平日)
計画交通量	11,700台/日(平成42年)
総事業費	90億円

整備前後の状況



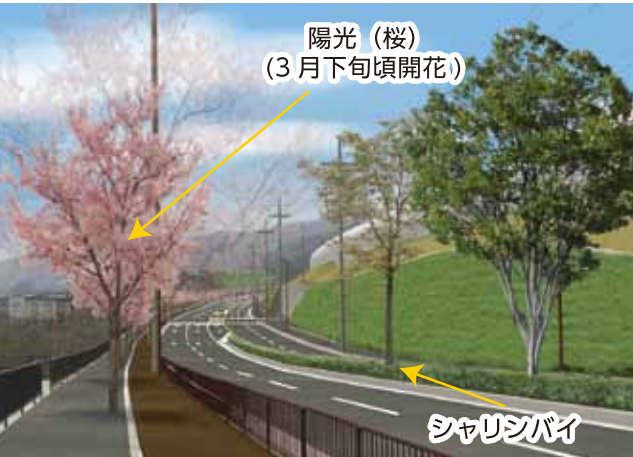
整備前(平成19年7月撮影)



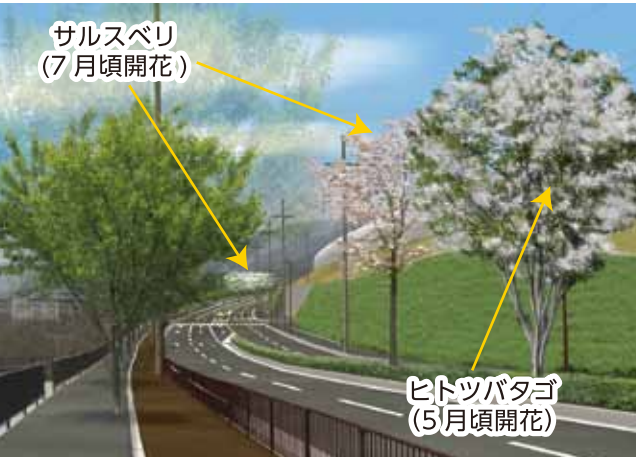
整備後(平成25年3月撮影)

植栽による緑化の推進

歩道部には陽光(桜)、中央分離帯にはヒトツバタゴ(ナンジャモンジャ)やサルスベリなどを植樹することにより、花と緑を楽しめる美しい景観を創出します。



(春)



(夏)

西長春日工区のイメージ

安心・安全な道路構造



自転車と歩行者の通行帯が明確に区分された自転車歩行者道を整備し、安全な通行を確保します(西長春日工区)。

歩道部には、水溜まりや降雨時の滑りを減少させる「透水性舗装」を採用しています。また、車道部には、すべり抵抗性の向上及びハイドロプレーニング現象を緩和できる「排水性舗装」を採用しています(全区間)。

省電力化と維持費を低減したLED道路照明灯の採用



幹線道路の照明として、連続的にLED(Light Emitting Diode)照明灯を採用したのは、本線が京都市第1号になります。

LEDの消費電力量(単体)は、これまでの水銀灯などの20～50%程度になるため、二酸化炭素の発生を削減でき、地球温暖化の防止に貢献します。

また、ランプの定格寿命は、15年(メーカー値)となっており、非常に長持ちすることから、維持費も、これまでに比べて、最大20%程度にまで低減できます。

※生活道路に設置している市街灯については、平成24年度からLED化に取り組んでいます。



平成25年3月 京都市印刷物第243195号



平成25年3月
京 都 市